

# 11月14日(金)

9	00	10:50~11:00 開会式
10	00	11:00~11:50 招待講演
11	00	細胞小器官ペルオキシソームの形成機構と欠損症研究: オルガネラ欠損病概念の確立 藤木 幸夫
12	00	12:00~12:50 ランチョンセミナー1 (TAE Life Sciences, RadioNanoTherapeutics株式会社) The newly developed Alpha-Beam neutron accelerator system by TAE Life Sciences along with next generation boron delivery drugs being developed at TAE Life Sciences brings a new dawn for BNCT Kendall Morrison
13	00	分子からナノ粒子へ:BNCTのパラダイムシフト 小松 直樹
14	00	13:00~13:30 特別講演1 物質の第4状態"プラズマ"が拓くテクノロジー:宇宙・医療・半導体 白谷 正治
15	00	13:30~15:00 シンポジウム1 「量子コンピューターと生成AI」 誤り耐性量子計算機の設計と開発 鈴木 泰成 国産量子コンピュータの整備・運用 根末 誠 生成AIによる感情認識・カウンセリング 井上 昂治
16	00	15:15~17:00 シンポジウム2 「宇宙と物理・化学・生物・医学」 国際宇宙ステーション搭載CALETによる 宇宙線観測と宇宙天気予報 片岡 龍峰 化学で探る生命の起源と地球外生命 小林 審正 深宇宙有人滞在に向けた個人被ばく線量計測の最新動向 小平 聰 宇宙放射線の生物・医学研究～過去・未来～ 高橋 昭久
17	00	17:00~18:00 ポスターセッション
10	20	18:30~ 情報交換会

# 11月15日(土)

08:30~09:45 シンポジウム3 「放射線による高精度な制癌を目指した最新生物研究」
マイクロビーム放射線療法の抗がん効果を細胞間クロストークから 紐解く—X線から重粒子線への期待 小嶋 光明
次世代重粒子線がん治療の確立を目指して 下川 卓志
BNCTのバイオロジーとバイオマーカー研究 益谷 美都子
10:00~11:30 シンポジウム4 「日本の量子医療と世界戦略」
日本における陽子線治療の現状と将来展望 水本 齊志
BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)の現状と将来展望 二瓶 圭二
重粒子線治療の現状と今後の展望 小森 昌志
核医学治療の最前線:多様化する標的と治療戦略 廣正 智
QSTにおける研究開発と将来展望 石川 仁
11:30~12:00 特別講演2 日本量子医学会の課題と期待 中野 隆史
12:00~12:45 ランチョンセミナー2 (アマゾンウェブサービスジャパン合同会社)
ライフサイエンス×医療における生成AI革命 ～AWS活用による研究開発の加速と診療支援の高度化～ 松永 敬人
13:00~14:30 一般講演 日本の粒子線治療施設を存続されるための課題と対策 沖本 智昭和 肺がんに対するオフライン適応重粒子線治療の累積線量解析 酒井 真理
Development and verification of smart Nanofiber mesh for synergistic combination therapy against refractory glioblastoma Miyasha Abulimitioma 放射線作用に着目した新規放射線治療へのアプローチ 平山 実一
新規BPA類似体を用いたBNCTは抗PD-1抗体併用で効果増強される 池浦 真希
14:45~15:15 特別講演3 ゴジラとともにシン化する放射線生物学 松本 義久
15:15~16:45 シンポジウム5 「プラズマ医療＆農業の未来」
大気圧非平衡プラズマとプラズマ農業 古関 一憲
低温プラズマの生物作用を理解するための鉄・フェロトシス・がん 豊國 伸哉
低温プラズマの医療応用に向けた展望と課題 梶山 広明
16:45~17:00 閉会式